

第12回「平成18年」通常総会開催

■日時 : 平成18年5月27日(土) 13:30~14:30
 ■場所 : 宝塚造形芸術大学大学院梅田サテライト
 〒530-0012 大阪府北区芝田1丁目13番16号



11:00~12:00 東西合同理事会を大阪化繊会館にて行い理事は昼食後、場所を宝塚造形大学梅田キャンパスに移して第12回通常総会を13:30~14:30まで開催しました。出席者+委任状118名 会員総数の60%を超えましたので議事はすべて承認され、総会は成立しました。

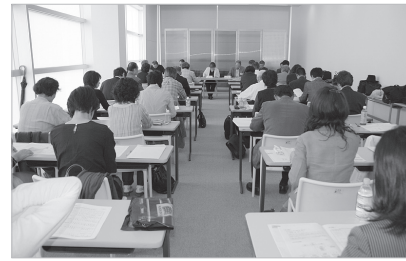


総会内容

1. 開会 13:30

2. 議事

- 第1号議案 2005年度事業活動報告(案) 概況報告
 - 1) 2005年活動実施概要報告(案)
 - 2) 会員移動状況
 - 第2号議案 2005年度収支決算報告
 - 1) 収支決算報告書
 - 2) 貸借対照表
 - 3) 財産目録
 - 4) 会計監査
 - 第3号議案 2006年度活動方針と組織(案)
 - 第4号議案 2006年度役員人事と担当役員(案)
 - 1) 役員及び理事補佐担当表
 - 第5号議案 2006年度事業計画(案)
 - 第6号議案 2006年度収支予算(案)
3. 閉会



■新理事就任コメント (大高 亨氏)

今まではどちらかというと仕事の忙しさを理由に、TDAの活動に対して積極的に参加していませんでしたが、とりあえずこの1年、少しでも陰でささえる役にできれば幸いに思います。私は現在大学に所属し、教育、デザイン、アートの領域で仕事をしております。それぞれの領域を越えたイベントの提案、お手伝いができればよいと考えています。今はクリエイション部会で、〇FUROSHIKI展の企画運営をさせていただいています。部会としては、11月27日から京都でギフトグッズ展が開催され、1月13日からは〇FUROSHIKI展の東京展が開催されますので奮っての参加をお待ちしております。まだまだ若輩者で微力ではありますが、会員のみなさまのお役にたてるよう努力させていただきます。

TDAデザインフォーラム 喜多俊之氏 基調講演 「デザインちよっと未来へ・・・」



喜多俊之氏



会場風景



懇親会会場風景



5月27日、通常総会後、プロダクトデザイナー喜多俊之氏の基調講演が行われた。喜多氏は、シャープの液晶テレビ『AQUOS』のデザイナーでも知られる第一線で活躍されているデザイナーである。イタリア・ドイツ・日本のメーカーから家具・家電・家庭用品など多くのヒット商品を生んでいらっしゃる。現在は、大阪の北浜とミラノを主な拠点として活動されている。今回の講演では、スライドを交えた喜多氏の最近の仕事を通して、世界のデザインの動向を話して下さった。現在のデザイン立国たるイタリアは、'60年代の『人をもてなせる歌作り』という日常のくらしの改革によって、人々の心が豊かになった所以にあるという話は、とても興味深く印象に残った。日本ではどうだろうか？日常にファミリーパーティーを催す家庭は、まだほんの一部。突然人が訪ねて来たら、大慌てという家も少なくない。日本は住宅事情や人々の住まうことへの意識から変わっていかねばいけないのかな？と感じた。しかしながら、「日本には素晴らしい伝統と熟練された地場産業がある」ということも強調された。そして、これらを世界のマーケットに押し出す総合プロデューサーの育成が急務であることも力説された。今、日本の『デザイン』も『意匠』だけではなく、もっと総合的なプロデュース力を持つべきだと痛感させられた。また、中国や韓国が政府ぐるみでデザインに力を入れている今日、日本はどのように進んでいくべきなのか？喜多氏がそのキーワードとしてあげられたのは、『ハイテク&ハイセンス』であった。長く世界的な視野で活躍されている喜多氏のお話は、楽しい関西弁ながらも、重みと説得力に溢れていた。